

のざりんの鉄道模型改造奮闘記

野沢 良一

今年から、旅行・鉄道研究部の顧問になった野沢です。よろしくお願いします。

昨年までも何回か停車場には投稿してきましたが、今回は、今までの鉄道模型改造奮闘記を紹介したいと思います。まず、鉄道模型の購入履歴ですが、今まで何を買ったのか覚えていません。そう、もう私も若くは無いのです。年齢のことはトップシークレットですので年代で括りたいと思います。

初めて模型を購入したのは、高校生の時、関水金属（カトー）のEF66です。その時は、機関車1両しか持っていなかったの、カプラーなど気にしていませんでした。また、線路やパワーパックなども持っていなかったの、友達の家に行き、走行させていました。

時は流れて、なんと、EF62 がトミックスから発売になりました。EF62 は台車形状も 3 軸台車ということもあり独特な形状をしていました。線路もないのに、模型を持って歩いて眺めていました。



初めて買った EF62

平成に入り、友達と初めてホビーセンターカトーに行きました。当時は都営大江戸線がなく、西武新宿線の新井薬師前駅から迷いながら歩きました。（今年、都営大江戸線の「落合南長崎駅」から行きましたが、かなり駅から近くて驚きました。）その際、489系の「あさま」基本セットを購入しました。当時は現在ほど種類が出ていないので、489系も比較的レアな車両でした。購入した車両は、クハ489・モハ488・モハ489・クハ489の4両セットでした。当然、4両では物足りず、フルセットにしたかったのですが、もう増結セットなどは売っていませんでしたが、どうしても増結したかったので、485系の車両を購入して、屋根をねずみ色に塗ってみました。しかし、筆で塗ったためムラがあり失敗しました。結局、そのまま挫折。その後、しばらく模型から遠ざかっていました。

模型再開

室内灯作戦

購入した模型に、室内灯をつけたかったので、室内灯を購入することに。ただし、当時の室内灯は麦球で熱も出し、消費電力が多いにも関わらず、暗く、頑張っで室内灯を取り付けても、うまく点灯しなかったり、熱でボディが溶けたりしました。現在では考えられないことですが…。これにより模型とは再び疎遠に…。

模型、再び再開

東京に来て、地下鉄を乗っていると、だんだんと地下鉄車両に興味を持つようになってきました。まず、丸ノ内線の車両。当時は製品としては発売されていなく、キットを組み立てるものでした。この文章を読んでいる人ならば想像がつかうと思いますが、結局うまくいかず頓挫。そのうちに、カトーから丸ノ内線の車両が発売になりました。また、小さい頃見かけていた長野電鉄の車両も発売になり、再び模型熱に火がついてしまいました。

EF62 計画

中学校の時に、大好きな EF62 の 16 番(H0 ゲージ)の模型がカタログに載っていました。天賞堂製で価格が確か 29,800 円だったと思います。東京に来てから銀座に天賞堂に何度か足を運んだところ、EF62 が販売していました。ただ、ゼロが一つ多い金額でした。

その後、トミックスから 16 番ゲージの EF62 が発売になり私でも、なんとか手が届く金額でした。その後、N ゲージでも、カトーの FE62 の一次型、トミックスから、二次型のリニューアル品、などが発売になり、いずれの製品も模型では珍しく、6 個の車輪がすべて動く、本当の EF 機関車であったのですごく興奮しました。車番ごとに形状が違うため、現在もいろいろと加工をしています。具体的には、

- ・トミックスの JR タイプの EF62 (模型) を 54 号機にするために、機関車上部のモニターを黒くすれば大丈夫と思い、黒のスプレーを使用して塗装しましたが、ムラが出てそのまま頓挫。
- ・トミックスの旧タイプ「2002」を中古で購入し、テールライトを加工。
テールライトの部分に穴を開け、テールライトカバーを挿入。そこに、ファイバータイプのテールライトを挿入して、テールライト化。これは結構効果的に仕上がりました。
- ・前面の手すりの部分を購入して装着。しかし、穴がうまく空かず失敗。
- ・屋根上のフックを別パーツにと加工。割ピンを使用して行って結果、何とか形になりました。
- ・1 エンド PS22 もどき、パンタグラフの交換は簡単でした。

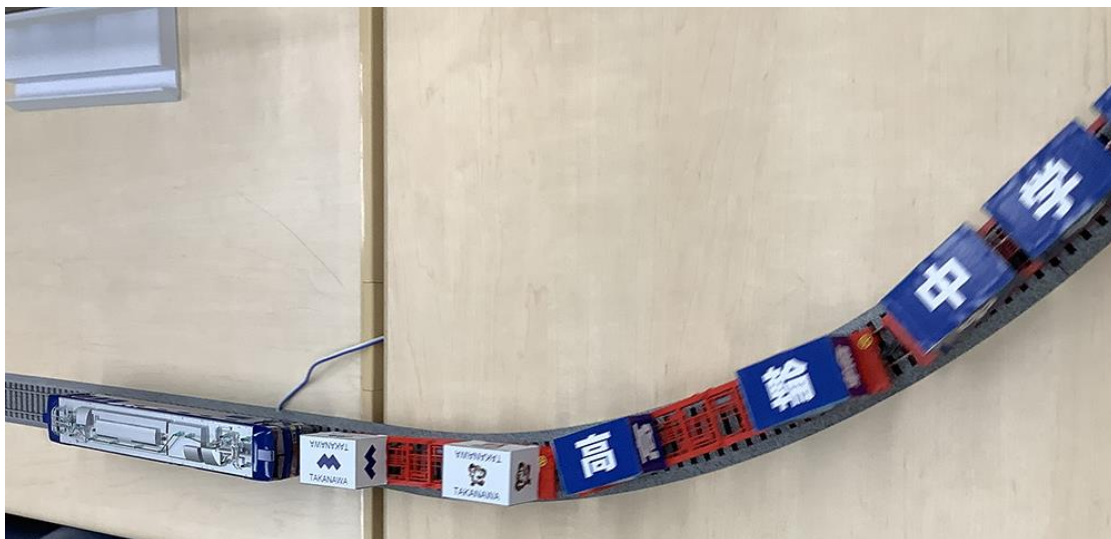
このように、現在でも EF62 で悪戦苦闘しています。

DE10 計画、DD51 計画

私はディーゼル機関車では、よく見かけた DE10 が好きです。模型で購入してからは、好きな番号プレートを貼って満足しています。形は変わらないのですが、自分の見かけたものと同じ番号だと愛着が出てきます。本当に見た目は同じですが…。たまたま、新小岩駅で見かけた DD51。部員の生徒からは「そんなはずはない」（新小岩に DD51 がいるわけないでしょ！どうせ、DE10 の見間違いでしょ）と言われ、悔しいので、DD51-897 を模型で残すことにしました。ついでに、「DD51-888」も用意しました。（購入して、番号を入れました）型番によって機関車の配色が配色が異なっていたので、確認が大変でしたが、模型として残せて大満足。しかし、その後、生徒から昨年廃車になったと聞き、啞然！

コキ 200 計画

2018 年から、学校の宣伝の一環として（自分で考えているだけ）コンテナ車を走らせ、コンテナに学校の紹介を描こうと思案。見栄えを良くするために、16 番を用意し、小さなレイアウトでも走行可能なコキ 200 を用意しました。カプラーを KD カプラーに取り替えただけですごくリアルで、かっこよくなりました。シール用紙に印刷し、コンテナに貼り付け、見栄えが良くなったことで調子に乗り、コンテナ列車の編成両数も増加しました。



ホキ 800 改造作成

新小岩駅で、ホキ 800 が留まっているのを見ているうちに、ホキのディテールアップを考えました。まず、黒い車輪に交換しようと考えました、軸が台車カプラーと接触するため、軸が細い無いと使用できないというので、車輪を探したところ、カトースポーク車輪が適合した。しかし、高価なため増強は無理でした。その後、上級者パーツを取り付けようとしたのですが、うまくいかず挫折。カプラーだけでも交換し始めましたが、カプラー交換の際に、カプラーポケットが変形をしてしまい、台車が転がらないという問題が発生し

てしまいました。

チキ 6000 キット計画

チキ 6000 のキットを組み立てようと画策しましたが、台車にカプラーを取り付ける際にうまくいかず、挫折してしまいました。しかし、先日から再挑戦を始めています。

チキ 7000 カプラー交換計画

最近、インターネットに交換方法などが記載されているので、何とか成功し、車輪も交換してみたいと考えるようになりました。結構かっこよくなりました。

鉄コレ N(N ゲージ) 化計画

長野電鉄 0 系、10 系、旧 1000 系などを入手し N 化にと考えましたが、不器用なためか、失敗が続くことによる交換部品の追加購入が多く、出費もかさんでしまいました。

長野電鉄 2600 系改造計画

ある模型店で、長野電鉄の 2600 系 (1/80 モデル) の中古が展示されていました。それをみてかっこいい！と思い、Nゲージでも欲しいということになり、探してみました。ところが、Nゲージでは販売されていませんでした。そこで、長野電鉄 2600 系のものと車両である、旧東急 5000 系のグリーンマックスのキットを購入し、作成始めました。結果ですが、結局、車両の枠の組み立てにとどまってしまいました。そのうち、マイクロエースから、完成品が発売になったので、完成品を購入することで、この改造計画は終了してしまいました。

長野電鉄 3600 系改造計画

長野電鉄に営団地下鉄の 3000 系が譲渡され、現在でも、走っている車両ですが、グリーンマックスのキットから制作しようと考え、部品を購入したもの、そのまま放置。その後、鉄コレでの発売が決まり、購入、そして N 化、しかし、その直後マイクロエースから、完成品が発表され、購入しました。

2020 年

チキ 6000 のカプラー交換というより、カプラー取り付け。何年か前に購入した、モデルアイコン製のキットを再び組み立て始めました。何年経っても技術力は変わらず…。

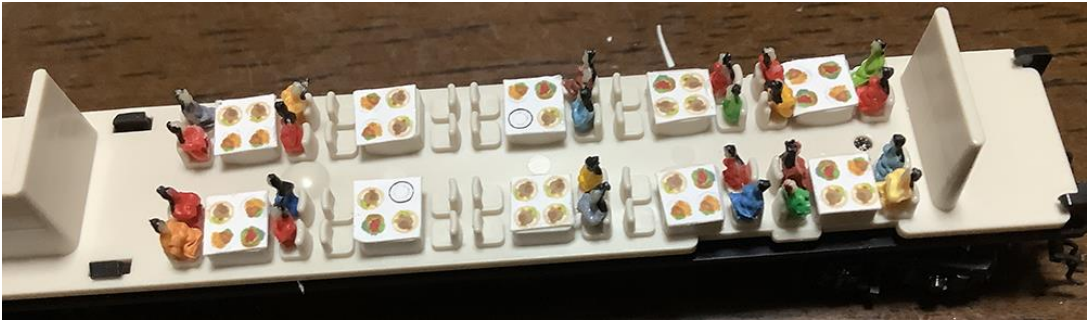
E217 系計画

昨年、総武快速線の E217 系の横須賀色の中古車両が、15 両が安く中古で出ていました。モーター車両が 2 両入っていましたが、その中で 2 階建てグリーン車がかっこよく、さら

にグリーン車を追加で6両購入し、グリーン車大量連結車両で楽しんでいます。また、室内灯を入れると、とてもかっこよく気に入っていましたが、接触不良が見つかり、分解したところ、車輪が痛み、集電板が汚れていました。車輪を取り替えて、集電板を洗浄したら、安定して点灯するようになりました。かっこいいよ！

乗客計画

模型の室内に乗客があるとかっこいいと考えたので、



▲乗客を入れてみました。上の写真は、食堂車の様子です。



▲実際に入れて、室内灯を点灯すると



▲オハ14に乗客を入れてみると



▲車内に入れ、室内灯を点灯させると



▲向かい合わせの、オハ12に乗客を入れてみると



▲車内に入れ、室内灯を点灯させると

このように、乗客を入れることで、車内の光がきれいにまわり、走らせていなくても、楽しくなります。



▲通勤電車もこのように乗客を入れると雰囲気が出ます。



▲▼E235系の山手線で乗客を入れると



やはり、車両によって乗客の効果が違い、今までで一番良かったのは、長野電鉄の特急「ゆけむり」です。



▲ゆけむりの先頭車

なんで、小田急の10000形でないのか？小田急の10000形は11両編成。それに対して「ゆけむり」は4両編成であるからです。前面展望を見ることができるパノラマ車両が編成の半分ということは、かなりインパクトがあります。山手線のE235系で11両分乗客を入れましたが、すごく手間がかかった反面、あまりインパクトがありませんでした。

結局、欲しいものをたくさん用意するのではなく、自分の気に入っているものをとことんいじると言うことが最後には感動すると思います。みなさんも、中学生、高校生の時にはお小遣いが少ないですが、社会人になったらある程度自由に使えると思います。そのとき、欲しいものを集めるのではなく、自分が好きなものに集中していじりまくるのが幸せになる秘訣かもしれません。